

インクルーシブの窓

令和7年12月 富山県教育委員会 教育みらい室 特別支援教育課



ユニバーサル野球で交流を深めました！



11月20日（木）、となみ総合支援学校と南砺市立利賀学舎前期課程の子どもたちが一緒に「ユニバーサル野球」を楽しみました。

ユニバーサル野球は巨大な野球盤を使って行われます。大きさは両翼5mを超え、バッターボックスからセンター後方のホームランゾーンまでは約6mあるそうです。

打席に立つバッターは、ホームベース上でゆっくり回っているボールにタイミングを合わせ、バットを固定しているピンを外します。ピンには握りやすいひも状の装置が付いていて、それを引っぱると、バットが勢いよく回転するのです。ボールが当たった瞬間の音は、何とも爽快です。



一人一人にみんなで声援を送りました！



試合が始まりました。一塁側にはとなみ総合支援学校、三塁側には利賀学舎の子どもたちがベンチ入りし、本物の野球場さながらに鳴り物や太鼓の音も鳴り響き、大きな応援旗も振られる中、大声援を送っていました。そして、自分の打順になると「1番、バッター○○さん。得意なことは～です。」などと名前がアナウンスされ、相手チームのベンチ前を通ってバッターボックスに向かいます。子どもたちは互いに笑顔でハイタッチ！関わり合いが自然に生まれます。

試合が進み、となみ総合支援学校の訪問教育を受けているお子さんが、自宅からオンライン参加で打席に入ります。名前がコールされモニターに表情が映し出されると、会場の声援は一層盛大になりました。代わりに打席でバットを操作するチームメイトが、お子さんの視線や表情による合図を見事に捉えてピンを引いていました。みんなと一緒に参加できる配慮はもちろん、子供同士の温かなコミュニケーションに胸が熱くなりました。

ユニバーサル野球を通して、両校の子どもたちは、人から応援される喜び、人を応援する大切さを感じ取っていたのではないかと思います。この経験をいつまで忘れないでほしいと願っています。

仲良くなった友達を見送る、となみ総合支援学校の子どもたち

